

事務事業名	国民年金事務事業			事業コード	03040105101		
所管部署	保険年金課	電話	50-3031	記入者名	山田法子		
事業対象	20歳以上の市民						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	法定受託事務	
	基本計画	安定した社会保障制度の確立			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	国民年金法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有						
事業の概要	国からの法定受託事務として、国民年金の資格取得・喪失・種別変更届けの受付と老齢年金・障害年金の裁定請求等を行うものです。						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費（事務用消耗品費、書籍購入費）</li> <li>○役務費（年金事務所報告郵便料他）</li> <li>○使用料及び賃借料（駐車場使用料）</li> <li>○旅費（全国都市国民年金協議会 交通費）</li> <li>○負担金（全国都市国民年金協議会参加負担金）</li> </ul>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	制度変更等の迅速な情報提供を年金事務所に求めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	近畿厚生局及び年金事務所から、制度変更等に関する情報提供を求めました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成27年度末の地域自治区廃止後の各総合支所との連携確保等の方法を検討します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域自治区廃止後の各総合支所との正確・迅速な連携に努めていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	民生費	項	国民年金事務取扱費	目	国民年金事務取扱費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	26 千円	26 千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	29 千円	27 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	28 千円	6 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	83 千円	59 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	3.41 人	24,242 千円	3.70 人	26,004 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.12 人	246 千円	0.10 人	253 千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	3.53 人	24,488 千円	3.80 人	26,256 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		24,571 千円	26,315 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	82 千円	59 千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		24,489 千円	26,256 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	24,571 千円	26,315 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国からの委託金が財源です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国との役割分担により人員を配置していきます。			
すぐに行える改善提案	国（年金事務所）が行う「地域連携事業」の充実を求め、制度理解に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	国（年金事務所）が行う「地域年金展開事業」の充実を求めていきます。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	被保険者の適用関係等届出処理件数	目標値				
		実績値	4875	4479	5453	5093
成果		目標値				
		実績値				
活動	国民年金被保険者総数（推定1号被保険者総数）	目標値				
		実績値	8958	9326	9882	10241
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

事務事業名	国民健康保険特別会計繰出金			事業コード	04010115101
所管部署	保険年金課	電話	50-3031	記入者名	伊藤嘉美
事業対象	国民健康保険加入者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	国民健康保険、老人医療、介護保険事業の適正運営		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	国民健康保険法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有				
事業の概要	国民健康保険事業の健全な財政運営と安定化を図るため、国民健康保険法及び国通知等に基づき国民健康保険特別会計に繰出しする。				
	<p>○繰出金</p> <p>【法定内繰出金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保険基盤安定繰出金</li> <li>保険税軽減分（保険税軽減分の支援） 負担割合：県3/4、市1/4</li> <li>保険者支援分（低所得者数に応じた支援） 負担割合：国1/2、県1/4、市1/4</li> <li>事務費等繰出金（一般管理、賦課徴収等経費）</li> <li>職員給与費等繰出金（職員人件費、運営協議会委員報酬他）</li> <li>出産育児一時金繰出金（支給額の2/3）</li> <li>財政安定化支援事業繰出金（低所得者や病床数が多いことによる支援）</li> </ul> <p>【法定外繰出金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法定外繰出金（国保会計の財源不足による支援）</li> </ul>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	法定外繰出金を増加させないため、収入の確保と支出の削減に努めます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	制度改正による国保税軽減額の拡大等で税の調定額が減していること、高額医薬品の保険適用等による医療費の増から、平成27年度は法定外繰入金が1億円の増額の1億5千万円となりました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	国の制度改正による国民健康保険会計への影響を勘案した財政運営を検討していきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	保険税率改正も視野に入れた歳入増と、医療費適正化に取り組み、医療費の抑制を図ります。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費					
コスト	事業費		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	747,614千円	518,360千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	747,614千円	518,360千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.16人	1,137千円	0.16人	1,124千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.16人	1,137千円	0.16人	1,124千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	748,751千円	519,484千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			国県支出金	285,184千円	216,489千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			463,567千円	302,995千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	748,751千円	519,484千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。 国の制度改革により、平成30年度からは都道府県が国民健康保険特別会計の財政運営を担うこととなります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法定内繰出金については、国の制度改革等により金額が大きく増減します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づく事務実施に必要な人員を配置していきます。			
すぐにできる改善提案	法定内繰出金については、事務費等繰出金の低減を検討します。 法定外繰出金については、国民健康保険会計の歳入確保の検討を行います。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年度からの制度改革実施を見据えた国民健康保険財政の運営について検討していきます。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	千円	目標値	50000	50000	50000	50000
		実績値	150000	300	50000	100
成果		目標値				
		実績値				
成果		目標値				
		実績値				
成果		目標値				
		実績値				
成果		目標値				
		実績値				
成果		目標値				
		実績値				

事務事業名	老人医療保健事業			事業コード	04010700101		
所管部署	保険年金課	電話	50-3031	記入者名	高嶋妙子		
事業対象	旧老人医療被保険者						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	国民健康保険、老人医療、介護保険事業の適正運営			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	老人保健法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	旧老人医療保健制度に係る医療費等の精算処理を行う。						
	社会保険診療報酬支払基金が精算し、前年度に医療機関から納入された医療費のうち、社会保険診療報酬支払基金、国、県分の返還を行う。						
事業の目的・事業の概要等	○返還金 13,012千円 支払基金分 8,032千円 国庫分 3,984千円 県費分 996千円						

すぐに行える改善提案	法令等の規定に基づく事務です。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	老人保健医療分の精算に伴うもので、国・県・診療報酬支払基金に返還しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	法令等の規定に基づく事務であり、平成27年度の医療費（平成29年度の精算）をもって経過措置が終了し、平成28年度以降の老人保健制度にかかる医療費は、後期高齢者医療制度の費用とみなされます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	医療費等の精算のため、平成28年度まで継続します。（平成27年度の医療費は発生せず。）		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	老人保健費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	13,012 千円	4,213 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	13,012 千円	4,213 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.10 人	711 千円	0.34 人	2,390 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	711 千円	0.34 人	2,390 千円	人	千円	人	千円
総事業費		13,723 千円	6,603 千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
	その他	千円	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	13,723 千円	6,603 千円	千円	千円	千円				
財源合計	13,723 千円	6,603 千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	コスト投入の方向性を判断できる事務事業ではありません。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	法令等の規定に基づく事務実施に必要な人員を配置していきます。			
すぐに行える改善提案	法令等の規定に基づき実施すべき事務です。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	法令等の規定に基づき実施すべき事務です。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
	過年度精算を行なう事業のため、数値設定することには適しません。		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	後期高齢者医療事業			事業コード	04010800101		
所管部署	保険年金課	電話	50-3031	記入者名	高嶋妙子		
事業対象	後期高齢者被保険者						
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	国民健康保険、老人医療、介護保険事業の適正運営			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	高齢者の医療の確保に関する法律					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	後期高齢者医療制度を運営するため、後期高齢者医療広域連合への負担及び後期高齢者医療特別会計への繰出しを行うものです。						
	<p>○負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療療養給付費等負担金（医療費の支払いに要する費用のうち市負担分）</li> <li>後期高齢者医療広域連合事務費負担金（広域連合の運営に要する費用のうち市負担分）</li> </ul> <p>○繰出金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務費等繰出金（一般管理、賦課徴収等経費）</li> <li>保険基盤安定繰出金（保険料軽減分の支援）</li> </ul> <p>負担割合：県3/4、市1/4</p>						

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	後期高齢者医療費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,089,357千円	1,079,131千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	1,089,357千円	1,079,131千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.51人	3,626千円	0.52人	3,655千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.51人	3,626千円	0.52人	3,655千円	人	千円	人	千円
総事業費		1,092,983千円		1,082,786千円		千円		千円		
事業費	特定財源	国県支出金	152,009千円	145,179千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源		940,974千円	937,607千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		1,092,983千円	1,082,786千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	千円	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	---	---	---	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐに行える改善提案	医療費低減のためにジェネリック薬品の周知に努めます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	毎月新規対象者（75歳以上又は65歳以上の障害者）に対し、後期高齢者医療保険証発送時に使用動向の説明書及び希望カードを同封しており、後期高齢者医療広域連合でも、年3回のジェネリック医薬品を使用した場合の自己負担軽減額通知（差額通知）を郵送して、普及啓発を図っています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	健康増進課と協力して、健康診査等の受診率向上や疾病の重症化予防に努め、医療費低減に取り組みます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	毎月新規対象者（75歳以上又は65歳以上の障害者）に対し、後期高齢者医療保険証発送時に使用動向の説明書及び希望カードを同封し、医療費低減のためにジェネリック薬品の周知に努めました。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づき実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国の制度改正等により金額が大きく増減します。原則コスト低減を目指すべきものですが、被保険者数が増加していく中、同程度の費用を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	法令等の規定に基づく事務実施に必要な人員を配置していきます。			
すぐに行える改善提案	医療費低減のためのジェネリック医薬品推奨の周知方法の検証を行います。福井県後期高齢者医療広域連合に事務費低減を求めます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	後期高齢者の医療費低減のための前期高齢者段階からの継続した取り組みを検討します。			
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	後期高齢者事業 保年		事業コード	04010900131	
所管部署	保険年金課	電話	50-3031	記入者名	高嶋妙子
事業対象	後期高齢者医療制度加入者				
総合計画	基本構想	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	健康づくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	人間ドック事業
根拠法令	有	高齢者の医療の確保に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	第2次坂井市福祉保健総合計画（健康さかい21計画）			

【事業の概要】

人間ドックを受診することで、自分自身の健康状態をチェックすることができ、生活習慣病の予防及び早期発見、早期治療により、健康寿命の延伸を図る。

【対象者】市内に住所がある人で、受診日に後期高齢者医療制度に加入している人  
【申込期間】平成27年4月22日から11月30日まで・人間ドック  
【実施期間】平成27年5月から平成28年2月末まで  
【会場】県内指定医療機関 14機関  
【申込及び受診方法】①保険年金課または各総合支所市民課に電話又は窓口で申し込み、後日受診券を受け取る。  
②受診券を受け取った後、直接医療機関に予約をする。  
③受診時には保険証と受診券を医療機関窓口に表示する。  
④受診後、個人負担分を医療機関に支払う。  
【個人負担金】受診費用の7割を助成(ただし3万円を上限)  
【その他】人間ドックを受診する人は、同じ年度内に、国民健康保険が実施する人間ドック、特定健診、又は後期高齢者健診を受診することはできない。

【事業の目的・事業の概要等】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	健康増進費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.23 人	1,635 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,635 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		1,635 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		1,635 千円		千円		千円		千円		

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
活動 後期高齢者ドック受診者数	人	目標値	120	達成率 90	達成率 60	達成率 45		
		実績値	116	96.67	96	106.67	68	113.33
活動 ドックの広報活動数	回	目標値	2	達成率 2	達成率 2	達成率 2		
		実績値	2	100	2	100	2	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	人間ドック事業の受付窓口の一本化により、事務の効率化及び市民への利便性を図る。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	平成27年度より、国保の人間ドックと併せて見積もり徴収、契約、支払い事務等を行い、事務の効率化を図りました。国保・後期人間ドックの受付窓口を一本化することにより、市民への利便性を図りました。
中長期的に取り組むべき改善提案	財源を負担している福井県後期高齢者医療広域連合と協力して受診者増の取り組みを検討します。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	受診者数増加のため、広報やケーブルテレビで周知しました。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	後期高齢者の健康寿命の延伸に有効です。また、福井県後期高齢者医療広域連合からの実施依頼もあります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	後期高齢者の健康寿命の延伸に有効です。また、福井県後期高齢者医療広域連合からの実施依頼もあります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	福井県後期高齢者医療広域連合からの補助金が財源です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事務実施に必要な人員を配置します。			
すぐに行ける改善提案	受診者数増加のため、広報掲載回数を増やします。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	財源を負担している福井県後期高齢者医療広域連合と協力して受診者増の取り組みを検討します。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】	
---------	--